

平成31年1月26日

サソビチ OKAYAMA

飛沫会役員会及び中国支部新年会 次 第

《役員会 17:00～17:45》

1. 会長挨拶

2. 報告・議事

【報告1】2018年の飛沫会の活動について

【議事1】2019年「総会」の開催について

【議事2】機関紙「黒潮」の発刊について

【議事3】現役支援の拡充について

【議事4】オリジナルマークについて

【議事5】2019年度 飛沫会予算案について

《中国支部新年会》18:00～20:00

1. 役員会報告（総務）

2. その他飛沫会からの連絡（総務）

3. 会員故人への黙祷

4. 中国支部長挨拶

5. 乾杯（会長と現役主将）

6. OB1年生からのメッセージと現役からの報告及び決意表明

7. 九州一周クルージング報告（20代ゼリー）

8. 現役活動状況の模様（写真スライド）

9. 現役余興

10. 中締め（中国支部幹事）

【報告1】2018年の活動について

- ① スプレガ、中四国インカレ等牛窓開催のレースを飛沫会若手が運営
- ② 昨年6月、飛沫会がスナイプ艇を購入し、岡山大学ヨット部へ寄付
- ③ 8月、関東支部が全日インカレ個人戦に出場する現役を激励
- ④ 9月、中国支部が中国インカレを広島で応援
- ⑤ 9月、現役家族会において、飛沫会が現役家族のクルーザー乗船を提供
- ⑥ 11月、東海支部が全日インカレで応援艇を準備し、現役を応援

【議事1】本年飛沫会総会の開催について

- ① 8月31日(土)、9月1日(日)「総会」を開催
 - ・これまで全国規模の集会は記念大会として5年毎であったが、今後隔年開催とし、更なる会員相互の親睦と現役支援の拡充を図る
 - ・重要事項の決済期間を短縮し、飛沫会組織の活性化を図る
 - ・会での現役の役割は重要で、経験値維持には隔年開催が望ましい
 - ・2021年に79周年、2022年に80周年記念大会、以後偶数周年開催予定。
 - ・ご承認いただければ、今後準備を進める

【議事2】機関紙「黒潮」の発刊について

- ① 総会開催年に「黒潮」を発刊
 - ・総会開催年に「黒潮」を発刊し、会員相互の親睦と現役支援の拡充を図る
 - ・運営委員会が黒潮作成の主体となり、現役と飛沫会が一体となって機関誌を作成する。収支は飛沫会が管理し現役支援に充てる。

【議事3】現役支援の拡充について

- ① 年会費の自動引落とし推進(現在25名)
- ② 終身会員制度の受付(現在31名、内完済者18名)
- ③ 会則の改正について
 - ・大学からの支援が今後先細りする中で、飛沫会からの支援なくしては、将来ヨット部の存在が危ぶまれる。
 - ・現在、年会費10,000円の内訳は「会費5,000円、現役支援金5,000円」であるが、会費を活動費と呼び替え、「年会費は活動費及び現役支援金として年額10,000円とする」に、また「終身会員は年会費を一括10万円納入した者」に改めるよう総会に諮る。

【議事4】オリジナルマークについて

- ① 昨年夏までの案に加えて、現在昨年末の郵送物において案を広く募集中
- ② 総会時、各案への投票を募る
- ③ マーク決定後、オリジナルグッズ(ポロシャツ等)を製作し、現役・会員に販売

【議事5】2019年度 飛沫会予算案について